



29. 4. 28

統合幕僚監部

(お知らせ)

日仏英米共同訓練（平成29年度米国における統合訓練）の実施について

自衛隊は、下記のとおり日仏英米共同訓練（平成29年度米国における統合訓練）を実施します。

本訓練は、本年1月の日仏外務・防衛閣僚会合（2＋2）及び3月の日仏首脳会談における合意を踏まえ、4月29日予定の仏海軍艦隊の訪日の機会を活用して実施する日仏英米による史上初の共同訓練です。公海を含むアジア太平洋地域で本訓練を実施することは、戦術技量や相互運用性の向上に資することに加え、累次確認してきた航行の自由や自由で開かれた海洋秩序に対する4カ国の支持を具現化するものであり、大きな意義を持つものです。

記

1 目 的

日仏英米共同訓練（平成29年度米国における統合訓練）を実施し、島しょ防衛における自衛隊の戦術技量の向上を図るとともに、統合運用要領に係る資を得る。あわせて、参加各国間相互の信頼・協力関係の充実・強化を図る。

2 期 間

平成29年5月3日（水）～5月22日（月）

3 実施場所

本邦周辺海空域～米国グアム及び同周辺海空域～北マリアナ諸島及び同周辺海空域

4 訓練参加予定国（日本以外）

仏国、英国、米国

5 訓練参加者（約220名）

(1) 統合幕僚監部（約10名）

(2) 陸上自衛隊：陸上幕僚監部、西部方面隊、通信団及び中央輸送業務隊（約50名、航空機1機（CH-47））

(3) 海上自衛隊：海上幕僚監部、自衛艦隊及び横須賀地方隊（約160名、艦艇1隻（輸送艦））

6 訓練内容

(1) 洋上訓練（本邦周辺海空域）

偵察用ボートの発進・収容訓練、海自艦艇、仏軍艦艇間による通信訓練等及び陸自航空機による発着艦訓練

(2) 水陸両用作戦訓練（グアム・北マリアナ諸島及び同周辺海空域）

ア 偵察用ボート等による着上陸訓練

イ 仏国、英国及び米国との連携・協力した総合訓練

7 その他

米国における統合訓練は平成25年度に開始され隔年で実施しており、今年度で3回目。過去2回は、米軍が米国カリフォルニア州で実施しているドーン・ブリッツに参加。今年度は、米国グアム及び北マリアナ諸島周辺で実施。